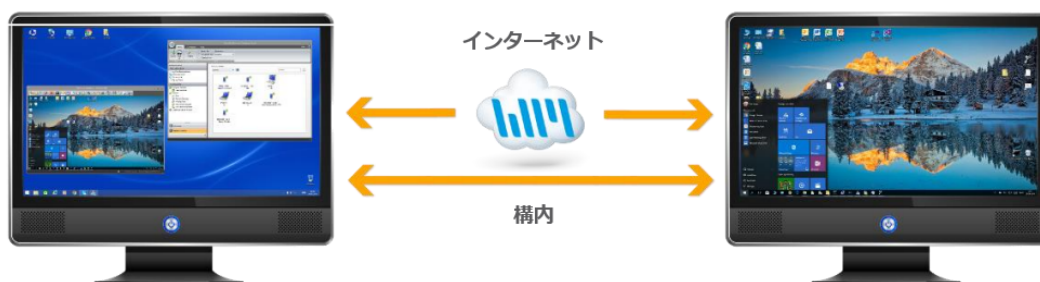


WiseMo Windows ホストガイド

WiseMo ゲストモジュール

WiseMo ホストモジュール



WiseMo は、コンピューターとデバイス間、たとえば PC、サーバー、Mac コンピューター、スマートフォン、タブレット、その他の小型端末または無人のデバイス間をリモート制御するためのソフトウェアを開発しています。WiseMo ソフトウェアを使用すると、効率を向上させ、時間とお金を節約するための強力なリモートコントロールおよび管理機能を利用できます。

ゲストモジュールとホストモジュール

WiseMo ゲストモジュールは、他のコンピューターやデバイスにアクセスしてリモート制御したいコンピューターまたはデバイス上で実行されます。

WiseMo ホストモジュールはコンピューターおよびデバイス上で実行され、ゲストモジュールを使用して認証されたユーザーによる安全なリモートアクセスを準備します。

Windows を実行している PC およびサーバー用の WiseMo ホストプログラム

このガイドでは、Windows ホストプログラム (Windows PC およびサーバーで使用するホストモジュール) のインストール、構成、使用、およびアンインストール方法について説明します。ホストモジュールは、WiseMo ゲストモジュールを実行しているコンピューターやデバイスから簡単、高速、安全にリモートコントロールできるように PC またはサーバーを準備します。

注

WiseMo ゲストモジュールを使用して、ホストモジュールを実行しているコンピューター/デバイスをリモートコントロールします。ゲストモジュールのセットアップ方法については、そのモジュールのマニュアルを参照してください。

1 Windows ホストプログラムのインストール

Windows ホストアプリをインストールして、WiseMo ゲストモジュールを実行している認証されたユーザーによるリモートコントロール用にコンピューターを準備します。

Windows ホストアプリは、Windows 11、10、8.x、7、Vista、XP、および Windows Server 2003 以降のバージョンをサポートします。

インストールファイルを実行すると、インストールウィザードでライセンス条項に同意するよう求められ、インストールディレクトリを変更できるようになります。

Windows がプログラムのインストールを受け入れるかどうかを確認するメッセージを表示します。**プログラムをインストールするには、コンピューターの管理者権限が必要です。**

WiseMo スマートカードドライバと、場合によってはモニタードライバ (一部の OS バージョンのブランク スクリーン機能に必要) のインストールを求めるプロンプトが表示される場合があります。

1.1 インストールファイル

永年ライセンスの購入後、または無料トライアルのリクエスト後に提供される電子メールにあるダウンロードリンクを介してホストをインストールできます。

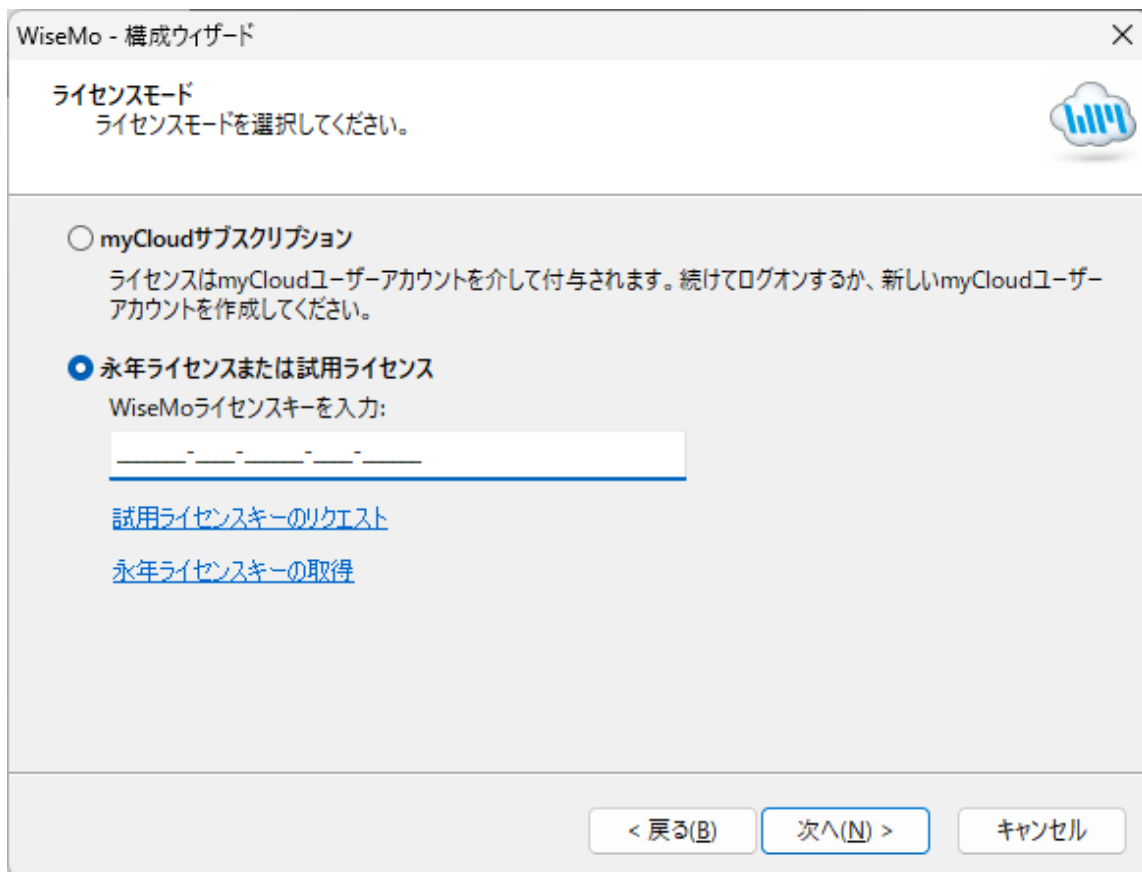
インストール後、構成ウィザードが開始されます。以下の[セクション1.2](#)を参照してください。ライセンスキーを指定する必要があります。キーを購入することも、無料トライアルをリクエストしたときに提供されるトライアルキーを使用することもできます。

1.2 構成ウィザード

構成ウィザードでは、一般的に使用される構成オプションを実行できます。後でホストから [ホーム] タブを介してウィザードを開始できます。以下にウィザードページの簡単な説明を示します。どのページが表示されるかは、ウィザードでの以前の選択とホストの全体的な状態によって異なります。

a. ライセンスモードの選択

ホストにまだライセンスが付与されていない場合、ウィザードはライセンスのタイプを選択するように求めますので、[永久ライセンスまたは試用ライセンス] を選択してください。



永久ライセンスまたは試用ライセンス

ライセンスキー (試用版または購入した永久キー) を入力して、プログラムの使用を許可します。ライセンスキーフィールドにキーを貼り付け、[次へ] を押下します。

ライセンスキー方式を使用すると、インターネットにアクセスできない環境でもプログラムが動作できるようになります。

b. 一般オプション

ホストの一部のデフォルトオプションを変更することもできます。これらはプログラムのユーザーインターフェース内から後で変更することもできます。オプションの説明については、このドキュメントの後半を参照してください。

c. ゲストアクセス認証方式

認証方法を定義します。デフォルトの方法は、パスワードを定義する「共有パスワード」です。複数のユーザーがホストにアクセスする必要がある場合は、パスワードの共有を避けるために、「Windows セキュリティ管理」オプションまたは「ユーザー名とパスワード」オプションを選択するとよいでしょう。

d. 二要素認証

二要素認証を使用してエンドポイントの認証保護を強化できます。これにより、アクセスが可能になる前に 2 つ目の要素である認証コードが必要となるため、通常の資格情報に加えて保護

層が追加されます。

e. ゲストアクセスの役割

セキュリティロールは、認証されたゲストユーザーが実行できる内容を定義します。WiseMo で定義されたロールは 4 つあります。後でセキュリティロールを変更したり、まったく新しいセキュリティロールを定義したりできます。WiseMo で定義されたセキュリティロールが変更されている場合、ウィザードのテキストに警告が表示されます。

f. ゲストアクセスパスワード

選択した認証方法で共有パスワードの指定が必要な場合、ウィザードにそのためのオプションが表示されます。

g. 個別ゲストアクセス

選択した認証方法でゲストユーザーの定義が必要な場合、ウィザードにそのためのオプションが表示されます。

h. myCloud

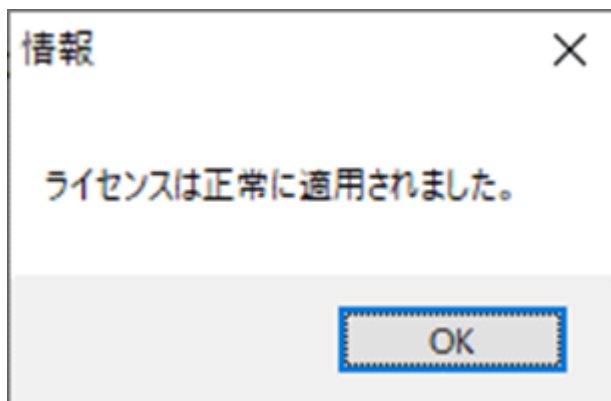
ライセンス方式が永年の場合、ウィザードは、myCloud 接続用のホストを構成するオプションを求めるプロンプトを表示しますので、“いいえ”を選択してください。

i. 通信プロファイルの選択

ウィザードを使用すると、通信プロファイルを変更できます。これは高度な使用法を目的としており、通常はこれらの設定を変更する必要はありません。

j. 構成ウィザードの完了

[完了] ボタンを押して構成を完了すると、プログラムがウィザード経由でライセンスを取得した場合は、「ライセンスは正常に適用されました」というメッセージ画面が表示されます。設定ファイル host.xml とライセンスファイル host.lic が保存/更新されます。これらのファイルの場所については、[セクション5](#)を参照してください。



ウィザードを途中で終了すると、プログラムの実行ライセンスが付与されず、デフォルト設定への変更が有効にならない可能性があります。[ホーム] タブを選択し、[ウィザード] ボタンを押下することで、ホストからウィザードを再度実行できます。

電源に接続されている場合でもコンピューターがスリープ/休止状態になるように電源オプションが定義されている場合にも、警告画面が表示される場合があります。ネットワークへのアクセスが妨げられている状況では、コンピューターをリモート制御できない場合があります。

1.3 リモートコントロールの準備ができました

インストールして構成すると、ホストプログラムが実行され、ゲストユーザーがホストプログラムに接続できるようになります。

これを確認するには、ホストアイコン (雲のアイコン) にマウスを置き、ステータスが [実行中] と表示されていることを確認します。タスクトレイにホストアイコンが表示される場合があります。ホストマネージャーを開き、左側のペインにある [プログラム状況] オプションを選択します。右側のペインの [ステータス] セクションに [実行中] と表示されていることを確認します。タイトルバーに「実行中」と表示されていることも確認します。

有効な IP アドレスが [名前とアドレス] セクションに表示されていることを確認します。このセクションには、ホスト ID と、場合によっては Windows ユーザー名も表示されます。これらは重要な ID であり、ゲストユーザーがホストのアドレス指定やホストの識別に使用することがあります。

[ヘルプ] タブの [バージョン情報] で、プログラムが適切にライセンスされているかどうかを確認することもできます。

2 リモートコントロールの例

WiseMo ゲストモジュールを使用して、WiseMo ホストモジュールがインストールされ実行されている PC またはサーバーにアクセスし、リモートコントロールします。

該当する WiseMo ゲストモジュールを使用すると、さまざまなプラットフォームから Windows PC またはサーバーをリモートコントロールできます。他の Windows PC、Android デバイス (スマートフォン/タブレット)、iOS デバイス (iPhone/iPad)、Mac コンピューターからリモートコントロールできます。

ブラウザから接続を開始すると、適切なゲストモジュールをインストールするように求められる場合があります。インストールすると接続を実行できます。最も機能が豊富なゲストモジュールは、Windows PC にインストールされる Windows リモートデスクトップゲストです。

この章では、リモートコントロールの例を示します。

2.1 リモート制御

自分の TCP/IP ネットワーク上のコンピューターまたはデバイスを制御する一般的で簡単な方法は、リモートコンピューターの IP アドレスまたはコンピューター名を指定して接続することです。

1. PC 上で Windows リモートデスクトップゲストモジュールを起動します。

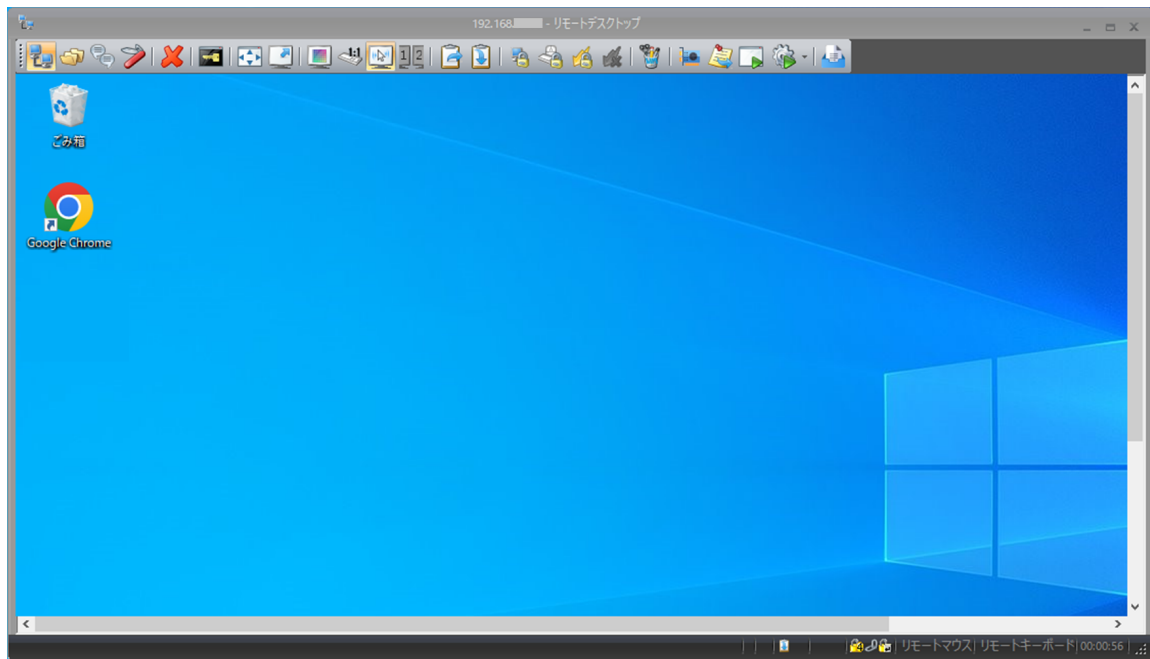


1. 左側のペインにあるメニューから [LAN とすべての接続] を選択します。
2. [ホスト ID] フィールドに IP アドレスまたはコンピューター名を入力します。
3. 「接続」ボタンを押します。



(または、「接続」タブの「リモート デスクトップ」ボタンをクリックします)

1. プログラムはリモートホストコンピューターに接続します。Windows ゲストコンピューターでは、別のリモートデスクトップコントロールウィンドウが開き、リモートホストコンピューターまたはデバイスのデスクトップが表示されます。ウィンドウを選択し、リモートコンピューターのリモートコントロールを開始します。マウスとキーボードの入力は、リモートコンピューターまたはデバイス上で実行されます。



このボタンを押すと、大きなウィンドウ内に完全なリモートデスクトップを簡単に表示できます。



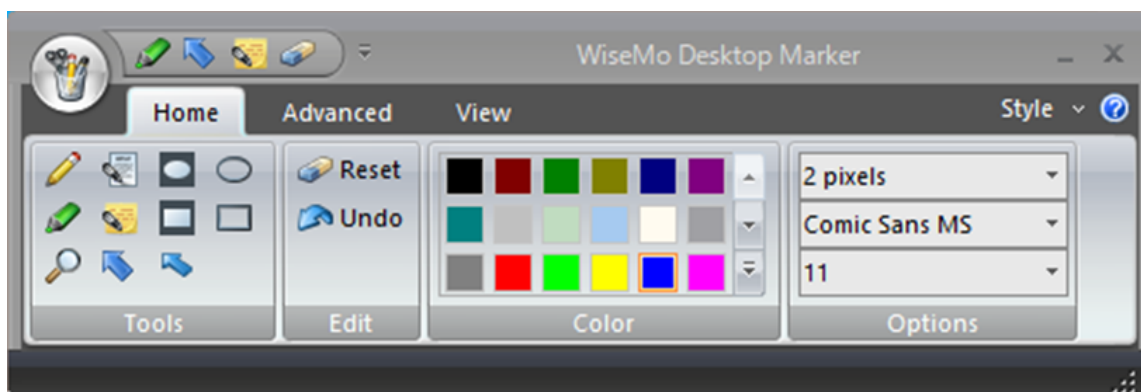
3 ホストの機能

ホストモジュールは Windows PC またはサーバーを準備し、WiseMo ゲストモジュールを実行しているユーザーがリモートコントロールできるようにします。WiseMo ホストモジュールは、お客様のメリットと価値を大幅に高める多くの機能を提供します。これは、目的が無人の状況をサポートすることであるか、ユーザーがコンピューターの前にいる状況をサポートすることであるかには関係ありません。コンピューターの前にいるかのようにリモートで作業したり、助けが必要なユーザーにリモートサポートや支援を提供したりできます。サービスやプロセスの終了または開始など、コンピューター上でシステム管理タスクをリモートで実行できます。おそらく、コンピューターのデスクトップで作業しているユーザーを中断することなく、ファイルやディレクトリを前後に転送する必要があるかもしれません。あるいは、どこからでも接続して、コンピューターをログオフまたはシャットダウンする場合もあります。

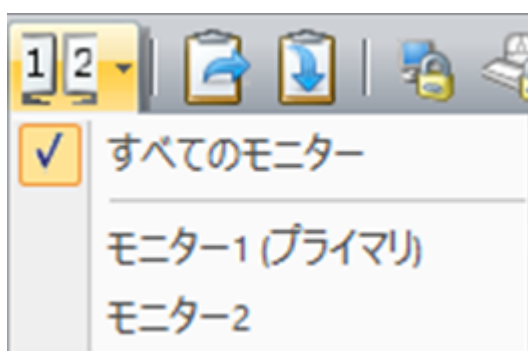
使用されるゲストモジュールによるサポートと、適用されるセキュリティ設定によって許可されることを条件として、ホストは、リモートデスクトップコントロール (表示と制御)、リモートクリップボード転送、プライバシーのためのホスト画面の空白、バックグラウンドファイル転送、ファイルボックス、ハードウェア/ソフトウェアインベントリの収集、チャット、プログラムのリモート実行、ゲストからのメッセージの受信などを提供します。また、複数のゲストが同じホストに同時に接続することもできます。



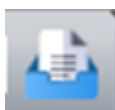
Windows ホストは多くの機能をサポートしています。ここでは、Windows ホストコンピューターに接続したときに Windows ゲストユーザーが使用できるボタンの例を示します。



すでに接続されている場合に使用できる機能の1つは、ゲストユーザーがホストのデスクトップ上で起動できるデスクトップマーカークューティリティです。これには、フリーハンドで透明なマーカーク、矢印、テキスト、楕円、長方形、「付箋」を描画する機能が含まれており、マウスに追従する画面拡大鏡とスポットライトも提供されます。問題を抱えているユーザーを支援するとき、またはデスクトップにメモを残すときに、デスクトップマーカークを使用してデスクトップ上の領域をマークします。



もう1つの機能は、マルチモニターを備えたコンピューターのリモートコントロールです。ゲスト側では、接続前に表示する特定のモニターを選択するか、すべてを表示することができます。Windows ベースのゲストモジュールから、接続中にさまざまなモニターを切り替えることもできます。デフォルトでは、拡張デスクトップが表示されます。画面の特定部分のみの遠隔操作にも対応しています。



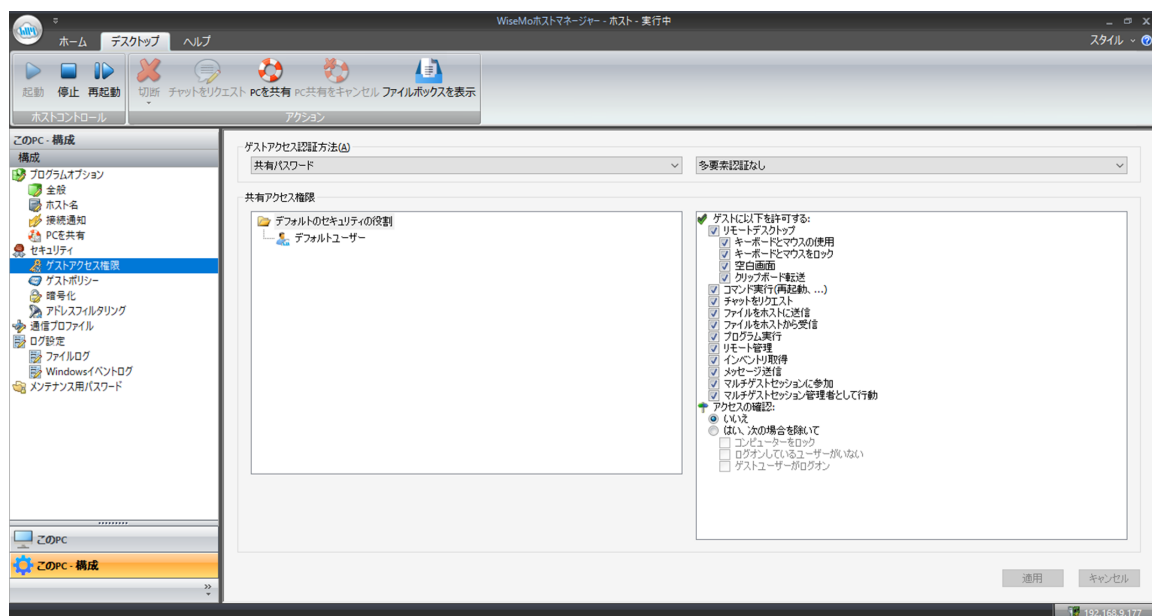
ファイルボックス機能があり、ゲスト/ホストユーザーはファイルをファイルボックスにドラッグできます。そしてそれらは相手側のファイルボックスに送信されます。これは、ゲスト/ホストユーザー間でファイルを迅速に交換するための使いやすい方法です。

ホストモジュールは、スマートカードリーダーのリダイレクトもサポートしています。この機能を使用すると、ゲスト側のスマートリーダーをホストコンピューターに物理的に接続されているかのように使用できます。ホスト側の Windows が、自分自身を認証するためにスマートカードを挿入するように要求する状況を考えてみましょう。通常、これは物理的に不可能ですが、WiseMo リモートコントロールを使用すると、ゲスト側のスマートカードリーダーにスマートカードを挿入するだけで済みます。ホスト上のスマートカードリーダーを選択するように求められたら、「WiseMo A/S Virtual Smart Card Reader」を選択します。

4 ホスト構造

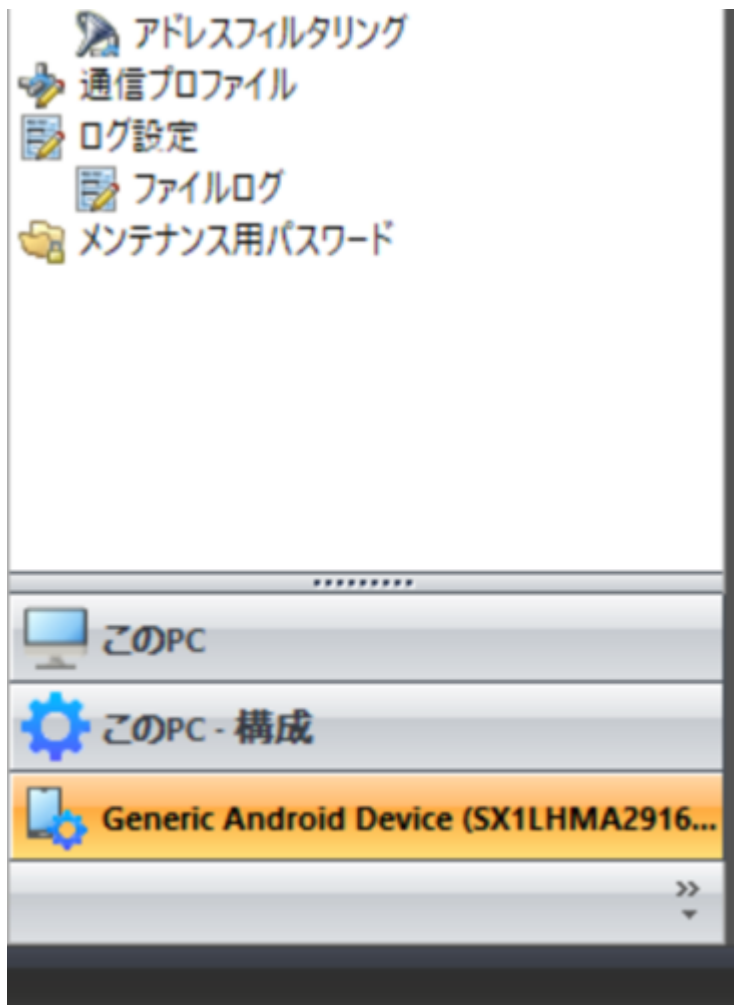
ホストモジュールは、たとえば通信を処理する Windows サービスとユーザーインターフェースを提供するホストマネージャープログラムからなります。ホストマネージャーが実行されていなくてもホストサービスを実行できますが、チャットやアクセス確認画面などの一部の機能は、ユーザーインターフェースが必要なため利用できません。システム管理者は、他の Windows サービスと同様に、ホストサービスを有効または無効にすることができます。

ホストマネージャーのユーザーインターフェースは、上部にボタンのあるリボンツールバーと、左側のペインのナビゲーションバーで構成され、各メニュー項目の詳細が右側のペインに表示されます。



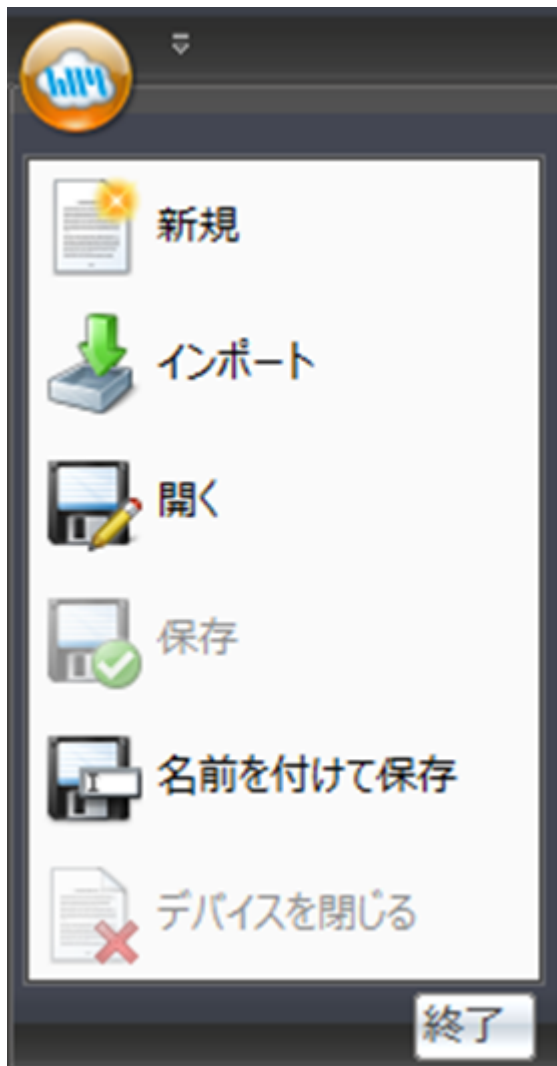
ナビゲーションバーに表示されるメニューは、選択したメニューカテゴリによって異なります。メニューカテゴリはナビゲーションバーの下部で選択します。通常、「この PC」と「この PC - 構成」という 2 つのカテゴリが使用可能です。

ただし、ホストマネージャーは、WiseMo の Android ホストまたは Windows Mobile/CE ホストを実行しているデバイスのホスト構成マネージャーとしても機能するため、それらのデバイス用の XML ベースの構成ファイルを簡単に変更できます。



ナビゲーションバー

システムメニューから既存の host.xml ファイルを開くことも、まったく新しいデフォルト設定ファイルを作成することもできます。それぞれがナビゲーションウィンドウの下部にメニューカテゴリとして表示されます。変更するものを選択します。たとえば、単なるパスワードではなくユーザー名とパスワードの認証情報を使用してアクセスを保護します。変更した設定ファイルは保存でき、カテゴリメニューから削除するために、[デバイス] カテゴリを閉じることができます。



システムメニュー

Android または Windows Mobile / CE デバイスを USB 経由で PC に接続する場合、PC がデバイス上の host.xml ファイルを検出して開くことができる場合、各デバイスがメニューカテゴリとして表示されます。

4.1 リボンツールバー

リボンツールバーは、ホーム、デスクトップ、ヘルプの3つのタブで構成されます。通常、ホストユーザーインターフェイスを使用する場合、使用するのは[デスクトップ]タブです。リボンツールバーに表示される各ボタンを説明するツールヒントが用意されています。該当のボタンの上にカーソルを置くだけです。

4.1.1 デスクトップタブ

[デスクトップ]タブには、タスクを制御したり実行したりするためのさまざまなボタンが用意されています。



[再起動] ボタンを使用すると、ワンクリックでホスト通信を停止および開始できます。特にリモートで、有効にするために再起動が必要な構成変更を行った場合に特に役立ちます。[停止] ボタンを押すと、通信するためのホストの機能が一時停止されます。ホスト通信が開始されていない場合は、[開始] ボタンを使用してホスト通信を開始します。[開始] ボタンによりホスト通信が初期化されるため、ホストはゲストユーザーからの通話を受信できるようになります。

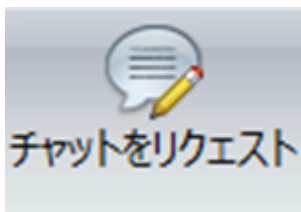
注

[構成] > [プログラム オプション] のデフォルト設定により、コンピューターの再起動後に通信が自動的に開始されます。これは、コンピューターが常にリモート制御できる状態にあることを保証するためです。この動作を望まない場合は、プログラムオプションを変更してください。

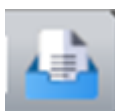


ゲストとのセッションを切断します。

複数のゲストが同時にホストコンピューターに接続している場合、すべてのゲストが切断されます。特定のゲストユーザーとのセッションのみを終了するには、ドロップダウンリストの矢印を選択します。



ゲストユーザーに接続すると、ホストマネージャーからゲストユーザーとのチャットセッションを開始できます。



このボタンを押すと、[ファイルボックス] が開きます。ファイルボックスは、ファイルをボックスにドラッグすることにより、ゲストユーザーとホストユーザーの間でファイルを交換するために使用されます。ファイルが送信され、相手側の [ファイルボックス] に表示されます。

4.1.2 ホームタブ

[ホーム] タブには、プログラム全体の構成オプションが用意されています。



インポート、開く、保存

ホスト構成は XML ファイルに保存されます。インポートして現在アクティブなものと置き換えたり、開いて変更したりできます。バックアップとして保存することができます。Windows ホストの host.xml ファイルは、次のフォルダーにあります。

%ProgramData%\WiseMo\WiseMo RSM\Remote Desktop Host

ウィザード

セキュリティの選択など、さまざまなホスト構成設定でも使用します。上記の[セクション1.2](#)も参照してください。プログラムにライセンスが付与されていない場合は、ウィザードを使用してライセンスを取得することもできます。

言語

利用可能な言語の中から選択します。プログラムに PC の言語定義を使用させるには、自動を使用します。使用可能でない場合は、英語が使用されます。

4.1.3 ヘルプタブ



[ヘルプ] タブには、オンラインのサポートやその他のリソースにアクセスするためのボタンがあります。ホスト プログラム自体で動作するボタンもあります。

サポート

このボタンは WiseMo サポート ページにアクセスし、そこから観察を記録したりバグを報告したりできます。

ナレッジベース

当社の製品モジュールの使用法に関するよくある質問を集めた WiseMo コレクションにアクセスします。

登録

WiseMo のシステムに接続して、当社製品のユーザーであることをオンラインで登録します。

ライセンスを適用

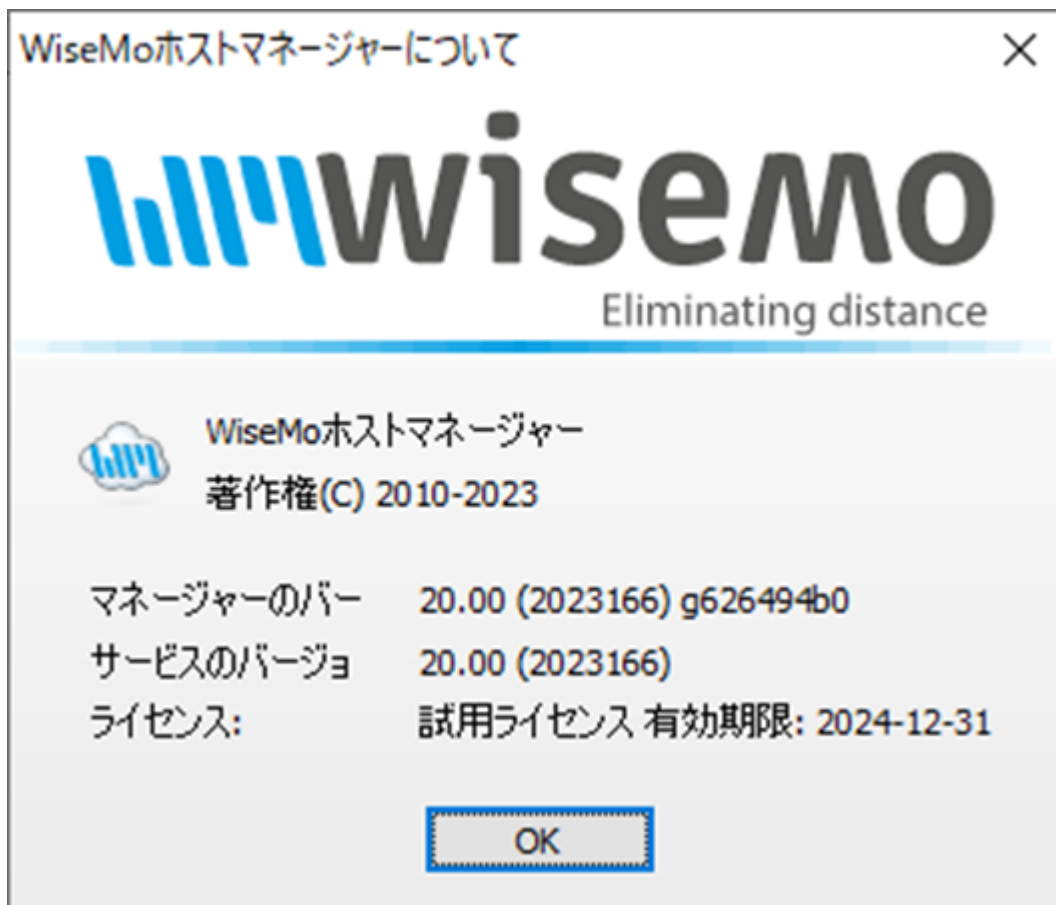
使用するライセンスを定義できます。

サポートログ

ゲストとホスト間の低レベル通信を記録した WsmHostWin.log ファイルを保存します。これはトラブルシューティングの目的で使用されます。問題を報告する必要がある場合、WiseMo サポートはこのサポートログを作成して当社に送信するよう要求する場合があります。

バージョン情報

「バージョン情報」画面には、バージョン、ライセンス、著作権表示など、プログラムに関する情報が表示されます。WiseMo ゲストから Windows コンピューターに接続できない場合は、Windows ホストモジュールが有効にライセンスされているかどうかをここで確認できます。試用版ライセンスの有効期限が切れている可能性があります。



4.2 ホスト情報

ナビゲーションバー (左ペイン、下部の) で [この PC] を選択すると、3 つのメニュー項目を持つ情報が表示されます。

項目を選択すると、その詳細が右側のペインに表示されます。

4.2.1 プログラム状況



[プログラム状況] を選択し、右側のペインに表示される情報を確認します。ホストサービスのステータスは、[ステータス] セクションに表示されます。[名前とアドレス] セクションには、ホスト ID、ユーザー名 (存在する場合)、および IP アドレスが表示されます。[通信プロファイルの初期化] セクションには、初期化された通信プロファイルが表示されます。

ゲストユーザーからの接続を受信できるようにするには、ホストはライセンスを取得し ([バージョン情報] ボックスで確認してください)、ステータスが [実行中] であり、少なくとも 1 つの通信プロファイルが初期化されている必要があります。ゲストユーザーは、初期化された通信プロファイルの 1 つを使用してホストに接続します。

[アクティブなゲスト接続] セクションには、ホストに接続されているゲスト、セッションのタイプ (小さな画像で示されます)、ゲストユーザーの名前、および使用されている暗号化レベルが表示されます。

4.2.2 接続履歴

ホストの起動以降に接続/切断されたゲストのリスト (日付とタイムスタンプ付き)。より高度なログを記録するには、利用可能な広範なログ機能を使用してください (後述)。

4.2.3 メッセージ

[メッセージ] を選択すると、ゲストユーザーから受信したメッセージのリストが表示されます。

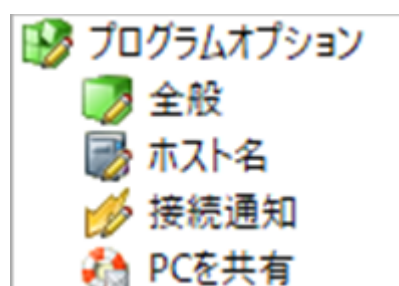
4.3 ホスト構成

ナビゲーションバー (左ペイン、下部) で、[この PC - 構成] を選択すると、いくつかのメニュー項目が表示されます。

項目を選択すると、右側のペインに詳細が表示されます。変更を行った場合は、忘れずに「適用」ボタンを押してください。一部の変更を有効にするには、ホストを再起動する必要があります。

4.3.1 プログラムオプション

このセクションにはホストプログラムの構成オプションが含まれており、以下で説明する 4 つの項目で構成されます。



全般

起動

☒ ホスト起動時に着信接続を待機

活動がなければ停止 秒 (0 = 停止しない)

ユーザーインターフェース

☒ ユーザーインターフェースを最小化した状態で起動

☒ トレイアイコンを表示

☒ 最小化時にユーザーインターフェースを隠す

☐ ステルスモード(ユーザーインターフェース非表示)

接続

☒ キープアライブメッセージを送信

☒ 複数同時のゲストセッションを許可

[起動]: サービスのロード時にホストサービスが通信を初期化するには、この設定をオンにします。それ以外の場合は、ホストマネージャーの [起動] ボタンを手動で押す必要があります。指定した時間非アクティブ状態 (ゲストユーザーが接続していない状態) が続いた後、ホストが自動的に停止するように定義できます。

[ユーザーインターフェース]: ホストマネージャーを表示するかどうか、および表示する場合はどこにどのように表示するかを定義する設定。

[接続]: さまざまな接続設定を制御します。[キープアライブメッセージを送信] により、ゲストモジュールが突然使用できなくなった場合にホストが確実に検出します。[複数同時のゲストセッションを許可] 設定がオフになっていない限り、ホストには複数のゲストが同時にアクセスできます。

ホスト名

ゲストユーザーがホストをアドレス指定または選択する必要がある場合に、ゲストユーザーが使用できる ID をカスタマイズするのに役立つ設定です。

ホストID

☒ Windowsコンピューター名を使用

☐ 名前、環境変数を入力するか、名前を空白のままにする

ホストID: HAGI

名前のオプション

☒ 公開ホストID

☒ Windowsユーザー名を有効

通常は、Windows コンピューター名をホスト ID として使用します。

あるいは、独自のホスト ID を入力するか、環境変数を使用することもできます。

[名前の入力] フィールドを使用して、ファイルからホスト ID を読み取るようにホストに指示することもできます。次の構文に従って、ファイルから名前を取得する方法を指定します。

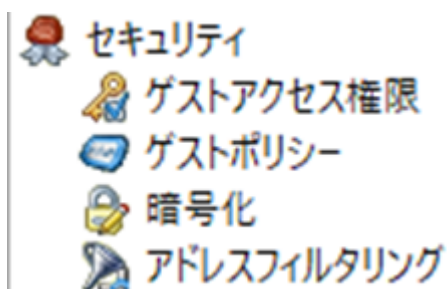
%CSV:[区切り文字]:[検索キー]:[値列]:[ファイル名]%

接続通知

接続時、接続中、接続後にユーザーに通知する方法を調整するための多数のオプションが利用可能です。これには、サウンドおよびビジュアル表示が含まれます。デフォルトでは、ゲスト名 (使用可能な場合) がタイトルバーに表示され、ホストアイコンがアニメーション化されます (ゲストが接続されていることを示すために点滅します)。

4.3.2 セキュリティ

このセクションでは、ホストのセキュリティ設定を制御します。4項目で構成され、それぞれを以下に説明します。



ゲストアクセス権限

認証方法と、認証されたゲストユーザーに許可される操作を制御します。エンドポイントへのアクセスをさらに保護するために、二要素認証を適用できます。

権限

権限は、認証されたゲストユーザーが実行できる内容を定義します。権限は、ゲストユーザーに割り当てられたセキュリティロールを介して割り当てられます。ゲストユーザーは、複数のセキュリティロールに直接または間接的に割り当てることができます。

認証されたゲストユーザーが実行できるアクション、または実行できないアクションが数多くあります。デフォルトとして、WiseMo はいくつかの異なるセキュリティロールを作成しました。独自のセキュリティロールを定義することも、WiseMo によって定義されたロールを変更することもできます。

たとえば、ファイルの送信または受信を許可するかどうかを定義したり、ゲストユーザーが画面の表示のみを行い、キーボードやマウスの制御を許可しないように制限したりできます。図は利用可能な設定を示しています。

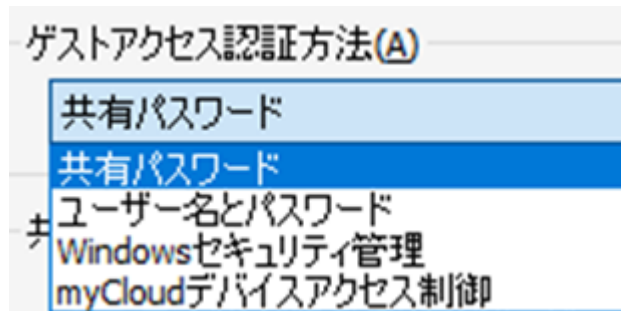
- ✔ ゲストに以下を許可する:
- ☒ リモートデスクトップ
 - ☒ キーボードとマウスの使用
 - ☒ キーボードとマウスをロック
 - ☒ 空白画面
 - ☒ クリップボード転送
 - ☒ コマンド実行(再起動、...)
 - ☒ チャットをリクエスト
 - ☒ ファイルをホストに送信
 - ☒ ファイルをホストから受信
 - ☒ プログラム実行
 - ☒ リモート管理
 - ☒ インベントリ取得
 - ☒ メッセージ送信
 - ☒ マルチゲストセッションに参加
 - ☒ マルチゲストセッション管理者として行動
- 📌 アクセスの確認:
- ☒ いいえ
 - ☐ はい、次の場合を除いて
 - ☐ コンピューターをロック
 - ☐ ログオンしているユーザーがいない
 - ☐ ゲストユーザーがログオン

アクセス確認機能を使用して、ホストコンピューターのユーザーも許可を与えるまで、認証されたユーザーがアクセスできないようにします (この機能は、ホストコンピューターが存在する場合にのみ使用してください)。

権限はホスト上で定義されていることに注意してください。

認証方法

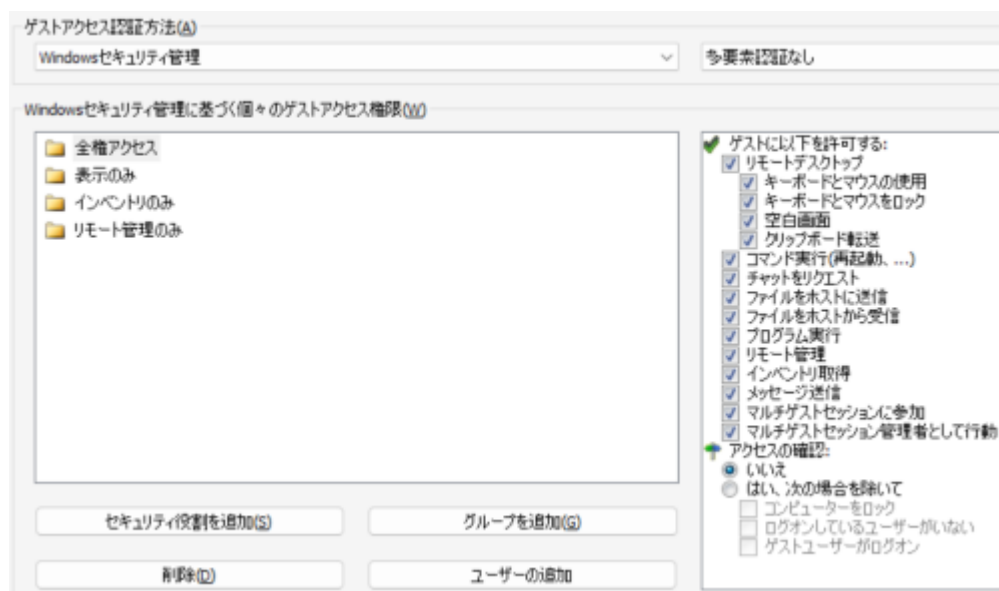
使用可能な認証方法は 4 つあります。



a. 共有パスワード: アクセスは単一のパスワードによって保護され、アクセス許可の定義にはデフォルトのセキュリティロールが使用されます。

b. ユーザー名とパスワード: ゲストユーザーは個別のユーザー名とパスワードを持ちます。各ゲストユーザーには、このユーザーの権限を管理するセキュリティロールが割り当てられます。

c. Windows セキュリティ管理: Windows セキュリティ (ローカルおよび Active Directory) を使用してゲストユーザーを認証します。



ローカル コンピューターおよび Windows ドメインの Windows ユーザーとグループを追加できます。各ゲストユーザーまたはグループは、アクセス許可を管理するセキュリティロールに割り当てられます。

ゲストユーザーは、グループメンバーシップを介して複数のセキュリティロールに間接的に割り当てられることに注意してください (たとえば、すべての Windows ユーザーはグループユーザーのメンバーです)。結果として得られる権限は、ユーザーが具体的に追加されたすべての役割、および Windows グループのメンバーシップを介して間接的に追加されたすべての役割の追加権限です。ただし、ユーザーがアクセス権の確認なしでロールに直接的または間接的に割り当てられている場合、アクセス権の確認は有効になりません。

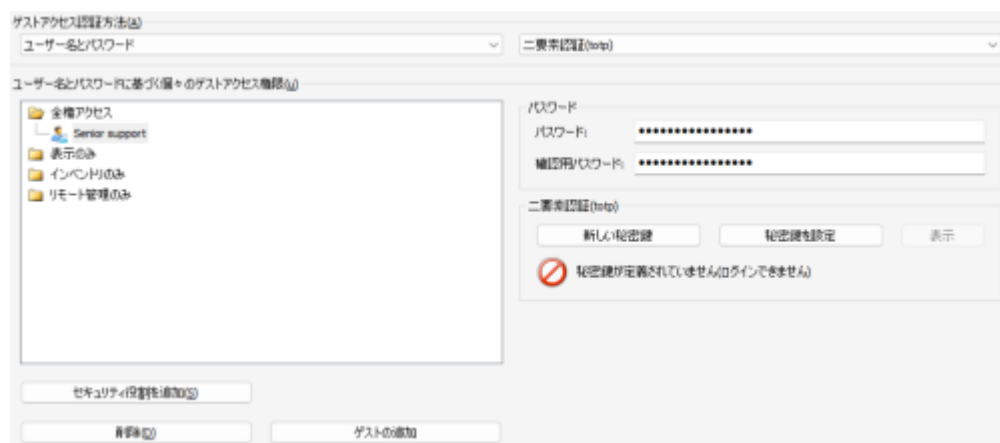
二要素認証

二要素認証によるエンドポイントへのアクセスの保護は、非常に強力なセキュリティ設定です。通常、ATM や自宅のコンピューターなど、1 人または数人だけがアクセスできるようにする非常に機密性の高いコンピューターへのアクセスを保護するために使用されます。

エンドポイント保護は、共有パスワード、ユーザー名とパスワード、および Windows セキュリティ管理の認証方法で利用できます。

二要素認証保護は認証方法レベルで定義されており、定義されている場合、アクセスを取得しようとするゲストユーザーは常に変化する確認コードを提供する必要があります。提供できなければ、アクセスできなくなります。確認コードは通常、Google や Microsoft Authenticator アプリなどを介してスマートフォン (2 番目の要素) で生成されます。

ゲストユーザーが定義されている認証モードの場合、ゲストユーザーごとに個別の秘密キーを設定することが可能/推奨されます (非常に安全です)。



ゲストポリシー

このセクションでは、ゲストの切断後の動作 (Windows の自動ログオフなど) を制御します。ゲストを切断するためのホットキー定義を提供します。また、パスワードの試行が許可される回数と、最大数に達した場合の動作も制御します。

暗号化

ホストは、データストリームが改ざんされていないことを保証するために、多数の暗号化レベルと整合性機能を提供します。

オプションには [なし] から [非常に高い] までありますが、デフォルトでは [高い] と [非常に高い] のみが有効になります。

ホスト設定は、最終的にどの暗号化設定を使用できるかを決定します。ゲストユーザーはその設定をリクエストすることができ、ホスト設定で許可されている場合は、この設定が使用されます。

それ以外の場合は、ホストによって許可された暗号化レベルが使用されます。クラシックレベルは、古い特殊モジュールとの互換性のみに関係します。



暗号化の各タイプについては、暗号化を選択して [詳細を表示] ボタンを押すと説明されます。左の図は、「非常に高い」設定の説明を示しています。

強力な暗号化を使用すると、CPU 使用率が犠牲になる場合があります。自分が管理していないネットワーク経由で接続している場合（例: インターネット）、常に何らかの形式の暗号化を使用する必要があります。自分が管理するネットワーク上で実行している場合は、安全性の低い暗号化を選択することが合理的である場合があります。WiseMo ゲスト モジュール (v.17 以降) は、デフォルトで非常に高い暗号化を使用しようとします。

アドレスフィルタリング

ゲストユーザーがホストに接続できる IP アドレスを制限できます。これは範囲の形式で定義することもできます。これは、ゲストユーザーが静的 IP アドレスまたは IP アドレスの範囲か

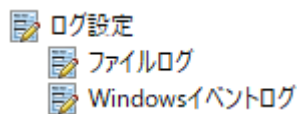
ら実行することが許可されている場合に使用すると良い手段です。リストにない IP アドレスからのゲストユーザーは、接続プロセスの早い段階でアクセスを拒否されます。

4.3.3 通信プロファイル

プログラムで使用される通信プロファイルの高度な構成を可能にします。このプログラムは、TCP、UDP、HTTP を介した通信をサポートしています。

TCP/IP プロファイル (TCP、UDP、および HTTP) の場合、たとえば、ホストがデフォルトとして使用する送信/受信ポート番号 (1970/1970) を変更できます。

4.3.4 ログの設定



ホストは、ホストに関連するイベントアクティビティの広範なログ記録を提供します。これには、構成設定、特定のアクション、セキュリティ関連イベント、およびセッションイベントを含みます。



ローカルまたは別のコンピューター/サーバーのいずれかで、ファイルおよび Windows イベントログにログを記録できます。

4.3.5 メンテナンス用パスワード

構成の変更や、ホストのコントロールボタンである [起動]、[停止]、[再起動] の使用を防止するために、メンテナンスパスワードを追加できます。

5 Windows ホストモジュールの更新または削除

ホストアプリケーションの新しいバージョンまたはサービスリリースを、以前のものの上にインストールできます。

既存のインストールを更新すると、デフォルトで構成設定が保存されます。構成設定は通常、次の場所にある Host.xml ファイルに保存されます。

C:\Program Data\WiseMo\RSM\Remote Desktop Host

XP コンピューターでは、通常、WiseMo フォルダはここにありますが (フォルダは非表示になっている場合があります)。

C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\

デフォルトの構成設定で開始する場合は、インストール前に Host.xml ファイルを削除できません。

ライセンスファイル Host.lic は、Program Files / Program Files (x86) の下の WiseMo フォルダに保存されます。削除するとプログラムは実行されなくなり、ライセンス情報の入力を求められる場合があります。

Windows PC またはサーバーからの WiseMo ホストアプリケーションの削除は、他の Windows プログラムを削除する場合と同様に行われます。たとえば、[コントロール パネル] の [プログラムと機能] オプションから実行できます (正確な用語は Windows のバージョンによって異なります)。

ホストプログラムをアンインストールしても、特定の一時ファイル、ライセンス ファイル、構成ファイルは削除されません。

ホストマネージャーはモバイル ホストモジュールと共有されます。したがって、コンピューター上にモバイル ホストのインストールファイルがある場合、ホストをアンインストールしてもホスト マネージャの部分は削除されない可能性があります。ホストマネージャーを使用している最後のモジュールがアンインストールされると、ホストマネージャーもアンインストールされます。

6 用語集

コンピューター – ゲストまたはホストモジュールでサポートされているオペレーティングシステムを実行する任意のサーバー、ワークステーション、デスクトップ、ノートパソコン。

デバイス – ゲストモジュールまたはホストモジュールでサポートされているオペレーティングシステムを実行するスマートフォン、タブレット、セットトップボックス、スキャナ、またはその他の小型端末または無人デバイス。文脈によっては、「デバイス」という用語にはコンピューターも含まれる場合があります。

ゲスト – コンピューターまたはデバイスにインストールされているモジュール。PC、iPad、iPhone、Android デバイス上、またはサポートされているブラウザから実行します。ユーザーはゲストモジュールから、ホストモジュールが実行されている別のデバイスまたはコンピューターをリモートコントロールできます。

ホスト – ゲストモジュールからリモート制御されるターゲットコンピューターまたはデバイスにインストールされているモジュール。たとえば、PC、Mac、スマートフォン、タブレット、セットトップボックス、またはサポートされているオペレーティングシステムを実行するその他の種類のデバイスがこれに該当します。

ホスト構成マネージャー – ホストマネージャーまたはモバイル ホストマネージャーとも呼ばれます。WiseMo ホストアプリケーションの構成に使用されるツール。これは Windows デスクトップコンピューターにインストールされ、デバイスが PC に USB 接続されているときにホストサービスまたはデバイスと通信します。

スキン – デバイスのリモート制御のために Windows 上のゲストモジュールによって使用されるグラフィカル ユーザーインターフェイス。通常、これは、リモート制御されている実際のデバイスのほぼ正確なグラフィック コピーです。スキンボタンは実際のボタンのキーストロークを模倣します。スキンボタンの 1 つをクリックすると、実際のボタンをクリックした場合と同じアクションがデバイス上で実行されます。

通信プロファイル – ゲストモジュールとホストモジュール間の通信用のプロトコル構成。ゲストからホストに接続する前に、どの通信プロファイルを使用するかをゲストで指定する必要があります。